

## 編集後記

2020年度は、福岡県では4月7日に第1回目の緊急事態宣言が発令され、前期のほとんどは入構禁止となり、遠隔で授業を行いました。緊急事態宣言が解除され、対面型の授業が再開されたときは、三密（密閉、密集、密接）を避けるための多くの工夫がなされました。また国外だけでなく国内での人の移動も厳しい制限を受けたため、学会活動やフィールドワーク、国際交流などの活動も大きく縮小することになりました。年報作成中の現在（2021年9月13日）も、第4回目の緊急事態宣言が発令中であり、2020年はウィズコロナ（Coexist with COVID-19）元年であったといえるかもしれません。そのような状況の中で、『理学部・理学研究科の年報 2020』の編集については、編集委員の先生方や事務室長はじめ教員や関係者の皆様方には多大なご協力をいただき、有り難うございました。本年報は理学部ホームページに pdf 版で掲載するとともに、ISSN 日本センター（国立国会図書館）に登録し、学内のみならず学外の方々も閲覧できるようにしています。本年報が理学部・理学研究科の2020年度の教育・研究活動を俯瞰し、今後の改善・改革に役立ち、また共同研究などの可能性を探る上でも大いに役立つことを願っています。尚、年報は2016年度版までは紙媒体と Web で公開していましたが、2017年度版からは、紙媒体での公開を廃止し、Web だけで公開しています。

(2021年11月12日 永田 潔文 記)

---

### 編集委員

|       |           |
|-------|-----------|
| 永田 潔文 | (理学部長)    |
| 西田 昭彦 | (理学研究科長)  |
| 藤木 淳  | (応用数学科)   |
| 眞砂 卓史 | (物理科学科)   |
| 倉岡 功  | (化学科)     |
| 岩山 隆寛 | (地球圏科学科)  |
| 溝口 政光 | (理学部事務室長) |